

実践事例

わたしたち、  
こんなミニ教室をやってみました!

●指一本ではじめるロックギター



いくつかの弦を押さえて弾いてみると、弾けたような気持ちになれる!

●ペンで描く線体験



水墨画の特徴を学び、筆の代わりにサインペンで書いてみる!

●真田幸村公



江戸時代前後の真田家の歴史を紙芝居で紹介した後、見えてきた人間性をもとに大河ドラマの配役についてメンバーで熱く議論しよう!

その他、●ピタゴラスの定理 ●化粧水のつくり方 ●ブラック企業の見分け方 など

「ミニ教室」を  
取り入れました!

エンパブリックでは、半年から一年間にわたる生涯学習の連続講座を提供しています。この講座の特徴は、アクション型のプログラムを通じて、受講生自らが主宰者となり、周りの人とともに活動をつくる力を身につけていくことです。これまで、杉並区「すぎなみ大人塾」、墨田区「すみだガバナンスリーダー養成講座」、小平市「小平シルバー大学」、荒川区「荒川コミュニティカレッジ」などで、連続講座の初期にアクションの第一弾としてミニ教室を導入しています。

私たちがサポートします!  
ミニ教室コーディネーター  
育成プログラム

ミニ教室は、地域講座内ではもちろんのこと、地域イベントの担い手育成として、組織内のお互いの個性を知り、つながりをつくるプロセスとしても活用できます。エンパブリックのミニ教室コーディネーター育成プログラムをご活用ください。



●ミニ講座の流れ

2時間×2回計4時間あればできる!  
ミニ教室企画～実践4つのSTEP

第1回「企画する」(2時間)

1. テーマを考える

ワークシートを使って、一人ひとり、テーマを考える。



2. 企画のブラッシュアップ

二人一組になり、「1.」で考えた内容をシェアする。相手の企画に対して、興味をもった点を話し合うことで、企画に対象者の視点を加える。



3. 企画を深める

「2.」の話し合いを踏まえて、伝えたいことをまとめ、体験してほしいことを考える

企画シートは  
ホームページより  
ダウンロード  
できます!

第2回「ミニ教室実践」(2時間)

時間	グループA	グループB
19:00~19:20	〇〇〇さん 「粘土で工作講座」	〇〇〇さん 「演劇講座」
19:25~19:45	〇〇〇さん 「問題企業の見分け方」	〇〇〇さん 「カケラ講座」
19:50~20:10	〇〇〇さん 「インターネットで食べ歩き」	〇〇〇さん 「日用品でつくる一輪挿し作り」
20:15~20:35	〇〇〇さん 「ラテンダンス講座」	〇〇〇さん 「ゴルフ講座」

度に関心を集めた、小さな珍しい民族楽器をつかって企画を考えた。ある70代男性は、地域に長く住んできたことから、地域の昔の地図と現代の地図を見比べてみる企画を考えた。人には必ず経験してきたことがある。それが個性であり強みであり、多くの人はそこに気づくことが難しい。ミニ教室を通して、自分自身を知り、自分の可能性に気づくことができるのだ。

従来の講座や研修では、企画・内容を主催者と講師が設定するため、参加者はどうしても受け身の姿勢になってしまう。参加者の「主体性を引き出すにはどうしたらいいのか」こんな問いから「ミニ教室」は生まれた。自分の好きなことから始まることで、自分が

主体となって取り組める。楽しさを伝えるには、伝わるような体験が必要だと気づき、自分のやってきたことの意味をふりかえる。自分が主宰する楽しさと難しさとに直面することで、自然と自分に足りないスキルや必要なスキルが見え、自ら学ぶ意味を見出し、主体性が芽生え始めるのだ。

そして、何よりもメンバー同士の好きなことを知ることができて、チームビルディングに非常に役立つ。ぜひ、みなさんの現場でも実践してみませんか?

みなさん、  
真剣です



よし!!  
頑張るぞー!!



上手に  
出来るかしら...



シリーズ/  
エンパブリックの  
現場から

vol.01

一人ひとりの魅力を知る  
「ミニ教室」をやってみよう!



「うわっ! エレキの音だ! すつとロック聴いてたけど、さわるの初めてなんですよ!」

会場の至る所から歓喜の声が上がった。それもそのはず、2つの会場では合計30種類ほどのミニ教室が開催されているからだ。エレキギターを教わるグループ、世界の小さな楽器を鳴らすグループ、野鳥をデッサンするグループ、戦国武将について熱く語り合うグループなど、テーマは実に多種多様だ。「ミニ教室」とは、参加者一人ひとりが、自分の好きなことや得意なことを活かして企画・実施するミニ・ワークショップ。内容は自由だが、ルールは「他のメンバーが体験できること」を盛り込むこと。1教室あたり20分程度で、お互いに実施・参加しあうのが特徴だ。お互いに好きなことや得意なことをベースに企画するため、一人ひとりの人柄を知ることができる。大人しそうに見える男性が実はギタリストだったり、怖そうな顔をした年配の男

性が実はラテンダンスが得意だったり、第一印象とは違った個性やキャラクターを知ることができて、実におもしろい。お互いの自己開示が自然と進むため、メンバー同士が仲良くなれることも特徴の一つだ。

「これまでのワークショップの中で、ミニ教室が一番印象的だった」と語る会社員の男性。彼ははじめ「自分には何もない」と言っていた。しかし、長年ゴルフをやってきたことから、ゴルフのスウィング体験をするミニ教室を企画した。実施してみると、ゴルフクラブを触ったことのない主婦たちが楽しそうにクラブをスウィングする姿を見て、微笑む彼の姿があった。相手に自分の好きなことを知ってもらい、喜んでもらえる、自分も嬉しくなる。相手にとってみると、やったことのないことが経験できて楽しい。こうして、体験を通じて自分の伝えたいことが伝わる楽しさを味わう。すると、もっとうまくできる方法はないか探し始め、次はこうやってみようかと、ますますやってみたいという気持ちが高まってくるのだ。

ある30代女性は、世界中を旅行する